

『風は南から』

令和5年度 校長室便り
(6月7日)(第5号)



「だから」ではなく、 「にもかかわらず」という生き方

私は生徒の皆さんが、昨年より今年、昨日よりも今日と、冲高で行うさまざまな教育活動を通して、人として成長することを願っています。

高校総体もある程度一段落し、今度は文化祭と体育祭が1週間おきにやってきます。校長室にいますと、校舎の方からは、応援団の力強いかけ声が、武道館の方からはエイサー部の張りのある澄んだかけ声が聞こえてきます。文化祭と体育祭の両方の準備を周到に進めていくことは、本当に苦勞が絶えないことだと推察します。

諏訪中央病院の名誉院長であり、作家の鎌田實さんは、逆境や苦難をプラスに考える「にもかかわらず」という生き方について話をされています。

鎌田さんは、実の両親ではなく、養父の岩次郎さんに育てられました。岩次郎さんは、小学校しか出ていなくて、貧乏で結婚した奥さんも重い病気を患い、二つの困難を抱えていながら、見ず知らずの鎌田さんを引き取って育ててくれたそうです。また、ご本人も周りからは無理だと言われながら、人一倍勉強して医学部に合格されて、自己実現を果たされています。

「貧乏だから」「生活が苦しいから」と考えれば、他人を引き取って育てようとは思いませんし、「貧しくて能力がないから」と思えば、医師になることも考えられません。

「だから」という考え方は、自分にできない理由を探して、気分が流れてしまいます。「朝は眠いから」「部活動で疲れているから」「文化祭と体育祭の間は1週間しかないから」・・・それに対して、「にもかかわらず」という考え方は、理性を働かせて、乗り越えて前に進む考え方、そして自分を成長させることにつながる考え方だと思います。文化祭は「台風で延期になったにもかかわらず」、成功できました。これから気分が流されそうになった時、ふと立ち止まって考えてくれれば幸いです。



「教室から世界へ! かごしまグローバルクラスルーム」事業について

本年度から県教委主催で、県立高校10校とオーストラリア・台湾・ベトナムの高校がオンラインを通して交流する事業が始まりました。

本校は、英語科の先生方の御協力で、1年生(1年3組)と台湾の高校生が、9月から2月までの間で、4回の授業を通してオンラインで交流することになりました。台湾の高校との交流には、加世田高校、川薩清修館高校、曾於高校、その他中学校3校の計7校も加わります。

また、交流する高校から1名ずつ選出されて、9月25日(月)から5泊6日で、直接台湾に行き交えることになっています。

授業で行う交流は、各校からの代表者とそれぞれグループワークが中心になるようですが、外国の文化に触れる絶好の機会になりますので、積極的に交流を図って国際感覚を磨いてください。

「愛校作業」で校内が きれいになりました!

5月28日(日)8時からPTA主催の愛校作業(校内の美化作業)が行われ、多数の保護者・生徒・職員に参加していただきました。最初小雨が降りましたが、



その後は天気も回復し、9時までの1時間、校舎周辺と第1・2グラウンドの除去作業を中心に活動していただきました。梅雨に入り、生徒の清掃では追いつけないほど校内の草も伸びていましたので、文化祭・体育祭の前に実施できて、大変ありがたく感じました。

9時に再度集まり、PTA会長の南山さんから参加された方々へ慰勞の挨拶があり、事故がなかったことを確認して解散しました。その後もサッカー一部と野球部の部員を中心に、苺った草の片付けをしていただきました。労をいとわず献身的に作業する生徒の新たな一面を知ることができて、非常に爽やかな気持ちになりました。

皆さん御協力本当にありがとうございました。

5月27日(月) 学科朝礼

5月27日(月)の朝は、普通科と商業科に分かれて、学科朝礼が行われました。

普通科の会では、中間考査が終わって部活動が本格的に始まり、また文化祭や体育祭を迎えるこの慌ただしい時期に、1年生が抱える悩みに、上級生がアドバイスする形式で行われました。



まず、学校行事の進め方について、2年生の生徒会の係の生徒から、クラスで役割分担をしっかりと決めて進めること、そして夢中に取り組んでみれば、新たな価値観に出会えるかもしれないという提案がなされました。その後、各クラスの文化祭の出し物の見所について紹介がありました。

次に、1年生から、部活動と勉強との両立をどのように図ればよいのかという点と、やる気がでない時にどう対処すればよいのかという2点について、質問がなされました。部活動をしている先輩からは、部活動のスケジュールをしっかり管理して、オンオフの切り替えをうまく図ること、また、やる気がでない時は、作業興奮を利用して、簡単なものから始めること、また、優先順位をつけて、しなければならぬことから始める努力すること等の助言がありました。



最後に、進路指導課主任の坪内先生からは、本日1年生から出された質問は、永遠のテーマでいつの時代の高校生も悩んでいることであり、2・3年生がどのように対処しているのか、よく観察したり直接尋ねたりすることが大切だという話がありました。朝から活発な意見が出されて、有意義な会になりました。

高校総体の結果より

- ★ ボクシングライト級準優勝(九州大会出場決定)
森 香奈太 さん(2年2組)
 - ★ 陸上砲丸投げ5位入賞(南九州大会出場決定)
坂本 蓮 さん(2年3組)
- 次の大会での健闘をお祈りしています!